SAKAS\_Unwrap 簡易説明書

1. File Nameにベースのファイル名を入力

例）「10251500\_0\_s\_\*」ならば「10251500\_0\_s\_」

1. 「Load img」の右に読み込みたいファイル番号を入力

例）Slice 500枚目を読み込みたければ「500」と入力

1. 「Load img」ボタンを押してランラップ前の画像を読み込み、表示

画像サイズはOrig image sizeやImage sizeに入力。各値の意味はSAKAS\_CONVと同じ

ファイルタイプ（拡張子）が「Re」と「Im」の場合は、Phase typeから該当するタイプを選択

1. 「Unwrap」ボタンを押すとアンラップを実行
2. 連続したアンラップは「Cont.」ボタンを押す。その下に指定したSlice番号を連続処理
3. アンラップ

別紙のように、

1. 「Calc Distance」の下の計算条件を用いて複素空間における各画素間の距離を計算
2. 「Sort」Ａ）で算出した距離を短い順に並べる
3. 「Connect」Ｂ）の順を元に、距離の短い領域から２πジャンプを計算して繋げていく

Fix Connectionは、その下の表に従って強制的に各領域間を繋げる

1. 「Unwrap」Ｃ）では2πの階層（±n）しか計算しないため、Ｄ）でアンラップ位相を作成

アンラップしたデータはSAKAS\_Convで作られるSinoと同例のUnwrapフォルダーに保存。処理過程はTagファイルに追記される。

その他

各データの連続処理は、SAKAS\_CONVやSAKAS\_CTと同様に、

1. 「Get Tag List」ボタンを押して、ディレクトリを選択。
2. 選択したディレクトリに含まれるタグファイルの一覧が表示される。
3. 処理対象のデータにチェックマークをつける。
4. 「Unwrap」ボタンを押すと、上から順番にチャックのあるファイルについて、連続してアンラップ処理を実施。